

令和元年度第2回「北海道企業局工業用水道事業経営懇談会」 議事録

日時 令和2年1月29日(水) 10:30~12:00
場所 北海道庁別館庁舎 10階企業局会議室
出席者 村上座長、河野構成員、山崎構成員、宇野構成員(敬称略)
(事務局) 岸局長、岡次長、松田課長、山下課長、多賀主幹、高橋主幹、上田主幹、
寺崎主査、久保田主査、西井主査、城岡主任、黒川主事

議事

1 「基本使用水量の減量に係る取扱いの改正案(資料1)」について

2 「減資(資料2)」について

○事務局から資料説明(資料1:城岡主任、資料2:多賀主幹)

○構成員からの主な意見

(資料1に関する事)

《山崎構成員》

- ・減量要件の業種変更について条件として厳しいと思うが、経営は最低限維持しなければならないので、バランスをとるのが難しい。

《宇野構成員》

- ・減量については責任水量制というものを基本にした方が良いので、その意味ではバランスのとれた提案である。

《河野構成員》

- ・室蘭の状況から致し方ない。今回はこのルールでいくのが良い。

(資料2に関する事)

《村上座長》

- ・バランスシート上の欠損金をきれいにする事は、透明性を高める上で必要なこと。

《宇野構成員》

- ・経営健全化が終わって一旦整理した後で経営戦略に進むことになり、経営戦略の進捗が会計上うまく表現されることになるので良い。

《河野構成員》

- ・損を切って再スタートというのは企業経営者として必要なので、減資に賛成。

3 「令和2年度予算(案)(資料3)」について

○事務局から資料説明(多賀主幹)

○構成員からの主な意見

《河野構成員、山崎構成員》

- ・赤字予算になるのは致し方ない。

《宇野構成員》

- ・資金的に想定範囲の赤字であれば良い。

4 「需要開拓(資料4-1、資料4-2)」について

○事務局から資料説明(高橋主幹)

○構成員からの主な意見

《河野構成員》

- ・工水カードの配布場所について、大通のセンターは道民以外の来訪が多いので反対。小中学生やネットユーザーに配布できるようにする方がいい。

- ・道新の子ども新聞に記事を掲載し、プレゼントで工水カードを配布する企画を道新に持ち込んでどうか。

《山崎構成員》

- ・工水カードは、企業向けのPRアイテムとしてイベント配布を検討するのが良い。

《宇野構成員》

- ・増量や新規需要に割引の制度があっても良いのではないか。
- ・割引制度は経営安定のためだけではなく、産業立地、工業活性化の観点から産業系の条例を整備した上で行うべき。ハードルは高いが。

5 「改修事業(資料5-1、5-2)」について

6 「経営戦略の概要(資料6)」について

○事務局から資料説明(資料5-1、5-2:上田主幹、資料6:高橋主幹)

○構成員からの主な意見

(資料5-1、5-2に関すること)

《山崎構成員》

- ・計画通りに進めるべき。

(資料6に関すること)

《村上座長》

- ・改修のピークは2040年頃であるが、できるだけ平準化を図りながら進めてほしい。

《宇野構成員》

- ・安定供給のためにはPC管などは更新していかなければならないが、更新すれば費用がかさむので、そのバランスをうまくする必要がある。

以上